



栄養教諭
内山奈美子
です。食育
だよりで家
庭へ食育の
様子をお伝
えます。

6月6日・12日・14日の3日間、3年生を対象とした食育授業を行いました。

題は「給食にかかわる人の思いを考えよう」です。3年生に、感謝の気持ちをもって食べてほしいという願いを込めました。

学校給食の牛乳が届くまでにかかわる人について考える・給食ができるまでにかかわる人を知る・どんな思いをもって仕事をしているか話し合う・給食時間にこれから気をつけたいことを発表するという内容です。

給食の牛乳が届くにはどんな人がかかわっているか発表しました。牛乳の原料は、めす牛の乳です。牛の世話をする人、乳をしぼる人、殺菌などして安全に飲むことができるようにする人、びんにつめる人・学校に運ぶ人、クラスごとにわけている調理員さんなどたくさんの方がかかわっていることに気付きました。



次に、前日の給食で使われていた材料から、かかわっている人を考え、どんな思いをもって仕事をしているか発表しました。「おいしく食べてほしい」「元気になってほしい」「のこさず食べてほしい」など発表がありました。豊治小学校の4人の調理員さんからメッセージも届きました。最後に、「調理員さんからのメッセージ」を紹介します。

松原さん「野菜も好ききらいしないで、いっぱい食べてね」

松本さん「おかずごとに美味しく味つけしています。味わって食べてね」

杉浦さん「骨がある魚の煮つけも、がんばって食べてね」

林さん「しょっきをできるだけきれいにし、返してね、」

